

『SELECT English Expression I New Edition』 —更なるユーザーフレンドリーな教科書を目指して—



『SELECT 英語表現』代表著者
成城大学 井上 徹

はじめに

『SELECT English Expression I New Edition』(以下、『セレクト表現』)は、生徒の学習意欲を高めることを目指して編集された「英語表現 I」の教科書です。現場の先生方が使いやすい伝統的な内容を土台にして、内容面でもタスク活動面でも楽しみながら英語学習が続けられるようにさまざまな工夫を凝らしています。本教科書の初版(平成26年度版)は、新学習指導要領の採択2年目に刊行されましたが、全国の先生方の信頼を受けて、多くの教育現場でご支持を賜りました。今回の改訂版では、取り扱う題材や掲載する写真を最新の内容にして、さらにユーザーフレンドリーな教科書作りを心がけました。

改訂版の編集方針

『セレクト表現』は、中学校で学んだ基本的な英文法を学び直し、さまざまな活動を通して、英語の表現力と発信力を高めることを目的としています。中学で学んだ英文法を学び直すと言っても、単に同じことを繰り返すのではなく、使用する場面を重視して、一歩進んだコミュニケーションのための英文法を基礎から丁寧に学んでいきます。

本教科書の初版では、学習指導要領で示されている総合的・統一的活動を通じて、英語を「学ぶ」ことと「使う」ことを並行して行い、学んだ英語が役に立つと実感してもらえる教科書作りをしました。この立場は今回の改訂版でも変わりありません。以下では、今回の改訂のポイントを説明します。

改訂のポイント

各レッスンの構成は、本書の最大の特色である、①イラストで視覚的に英文法の基礎を学ぶ**セレクト英文法36**、②学んだ文法項目を確認する「瞬間

チェック」から各課のテーマに沿った問題を解きながら文法項目の定着を図る「Gトレーニング」、そして、学んだ文法項目を使って会話形式で自分のことを発信する「Speak Up!」へと続く**系統的な反復学習**、そして③ポライトネスやコミュニケーションの立場から、場面に合った表現を選ぶ**場面でGo!**になっています。

改訂版では、初版の1レッスン見開き2ページの構成を保持しながら、小さな改訂を積み重ねました。まず、扱う題材に最新のものを取り入れ、写真と英文を新しいものにしました。具体的には、「はやぶさ2の挑戦」(Lesson 11)という最新の内容を取り入れています。また、前見返しと後ろ見返しのトリックアートの絵を新しいものにし、バスケットボール(Lesson 1)、宇宙食(Lesson 2)、錦織圭選手(Lesson 3)、Hello Kittyとアイドルグループ(Lesson 5)など、多くの写真を新しいものにしました。これらの変更に合わせて、**イントロ英会話**の英文や欄外の**なるほど☆ワード**の説明を調整しました。さらに、最新の話題を提供するために、練習問題の英文を一部変更しました。

取り扱う文法事項に関しては、初版で巻末の「文法のまとめ」にのみ掲載されていた<as ~ as ... >の同等比較を含む例文を「セレクト英文法36」の**プラスα**に追加しました。また、「場面でGo!」の問題を一部差し替え、正解が選びやすくなるように配慮しました。

さらに見やすく、わかりやすく、学びやすくするための工夫としては、デザインや活字を一新しました。これまで『セレクト表現』をご使用いただいた先生方には、活字やデザインを新しくしたこと、教科書全体の印象が変わったことを実感していただけたでしょう。

このように、今回の改訂版では『セレクト表現』

をご使用いただく先生方にも生徒のみなさんにもこれまで以上に見やすく、教えやすく、学びやすくするように、微差を積み重ねています。

本教科書の特色

すでにご紹介したとおり、『セレクト表現』は英文法の基礎・基本を確実に習得しようとする高校生のために編集されたものですが、特に、英語を苦手としている生徒や英語に自信が持てない生徒たちに、これまでつまづいてきた事項や不安な事項を克服できるように編集してあります。そこで、この項では、英語の基礎・基本を学ぶために配慮したこと、『セレクト表現』の特色をあらためて紹介します。

1) 文法項目をイラストで図解

2単位の教科書であることを考慮して、何百とある英語構文や文法項目の中から、これだけは覚えてほしいという文法事項を36項目精選し、**セレクト英文法36**というタイトルで各レッスンに2つずつ配置しています。それぞれのキーセンテンスには、意味や用法の特徴を視覚的に理解できるようにイラストをつけ、図解しました。英語学習でつまづく原因になっている難しい英文法の概念や抽象的な文法用語を避け、イラストを見るだけで楽しみながら基本的な文法項目のイメージを理解できるのが本書の一番の特色となっています。また、「セレクト英文法36」に関連する文法項目を、**プラスα**としてキーセンテンスごとに1~3項目取り上げています。「セレクト英文法36」にはガイドキャラクターがときどき登場し、語彙や構文の意味や用法を覚えやすいことばで紹介したり、補足説明してくれます。このように、わかりやすいイラストと生徒に語りかけるようなやさしいことばで、表現する際に基礎となる英文法を理解していきます。

2) 豊富な問題でセレクト英文法の定着をサポート

学んだ文法項目を実際に使えるようにするためには、繰り返し学習することが欠かせません。学んだ英語を生徒にすぐに使わせてみるために、「セレクト英文法36」のあとには、**瞬間チェック**という2択または3択問題を配置しています。簡単な練習問題をやってみて、自分にもできるという安心感を得られるようになっています。

「瞬間チェック」に続いて、各レッスンの文法項目とテーマに沿った練習問題**Gトレーニング(Gトレ)**に取り組むことで定着を図ります。『セレクト表現』の各レッスンは、世界の食文化、スポーツ、生き方、芸術、ご当地など、多彩なテーマを取り扱っています。「Gトレ」の問題文はテーマに沿って作られていますので、問題を解きながら、現代社会への関心を高められるようになっています。

また、各課の最後には、学んだ文法項目を利用して、会話形式で自分のことを英語で表現する**Speak Up!**を配置しています。下線部には表現例を示し、そのまま使える語句をまとめた**toolbox**を置いているので、英語の苦手な生徒でも容易にアウトプットできるようになっています。なお、「Gトレ」には4レッスンごとに**Gトレ^{プラス}**を配置し、問題を解きながら、各課で学んだ文法を補強、定着させます。万一学んだ文法項目を忘れていても、傍注としてヒントと関連するレッスンの番号が示されており、すぐに本課に戻って復習できるようになっています。本課で扱った文法項目は、高校生が日常生活でよく使う表現として、巻末に**文法のまとめ**として掲載しています。その英文は、「セレクト英文法」の例文同様に短くて覚えやすいものばかりですので、折にふれてご活用いただけたらと思います。

本課では上記の練習問題のほかに、左ページの冒頭で**イントロ英会話**を配置し、会話の中でターゲットとなる文法項目を使用した表現を導入しています。また、右ページの最初には、写真を見ながら行うリスニング問題**Let's Listen**を置きました。3つの英文のうち必ず一つには「セレクト英文法」で学んだ項目が含まれています。

3) 場面に合った表現を2択問題で学ぶ

「Gトレ」の後には、ネイティブスピーカーが実際に使っている表現を学ぶ**場面でGo!**を用意しました。ここでは、2つの文を見て、ヒントを参考に場面に応じた適切な表現を選びます。その表現は、各レッスンの文法項目に関連しているものになっています。生徒にとって紛らわしい過去形と現在完了形の使い分けを学んだり、日本語を直訳してしまうと誤解を招く表現を学んだりして、自分の気持ちをよりの確に表現するためには、英文法の実践的な知識が欠かせないことを実感していただけたらと思います。

4) 手を動かして英語の基本を総復習する

教科書の冒頭には、本課への導入をスムーズにするために、英語の基本中の基本を総復習する**Let's Start**を配置しました。最初のコーナーでは、実際に手を動かしてアルファベットの読み書きの復習をします。そのあと、単語のつづりを入れ換えて別の単語に変えるクイズに答えたり、アルファベット順に線で結んでナスカの地上絵を描いたりして、楽しみながらアルファベットの練習を行います。続いて品詞のコーナーでは、英語の単語が文の中で果たす意味や働きによって、いくつかの品詞に分類されることを再学習し、語順のコーナーでは、英語を読んだり書いたりする際に欠かせない英語の語順を、日本語の語順との比較で理解を深めます。

5) 「つなぎ言葉」ふしぎ発見

まとまった量の英文を話したり書いたりするときには、欠かせないのが、and、but、becauseなどのつなぎの言葉です。つなぎ言葉には、語と語、句と句、文と文を結びつけ、文章全体にスムーズな流れをつくるという重要な役割があります。**つなぎ言葉ランキング**では、現代英語の中で最も使用頻度の高い「接続詞トップ10」をあげ、わかりやすい例文と直感に訴えるイラストでその機能と用法を紹介しています。ふだんにげなく使っていた「つなぎ言葉」のふしぎを発見して、表現力のアップをねらいます。

6) 総合的な言語活動

『セレクト表現』では、新学習指導要領の趣旨を生かした総合的な活動として、**Speaking Station**と**Daily Conversation**という2つを設けています。

Speaking Stationは、読んだり聞いたりしながらテーマに沿った情報を取り入れ、自分の考えをまとめ、自分の意見を発表するアウトプット活動です。発表に必要な表現をワークシート形式で学びながら、パラグラフ・ライティングと発表の練習をします。身近な発明品、将来就きたい職業、日本文化など、生徒の興味を引くトピックが用意されていますので、楽しみながら取り組めるはずです。

Daily Conversationでは、本課で学んだ文法事項を使って、買い物、レストラン、道案内の場面で多用される基本的な会話表現に慣れ、実際に使えるようになることをねらいとしています。すでに知っ

ている英語の知識をどのように効率よく活用するかを、会話形式で紹介し、それぞれの場面に即した実用的で発信型の表現をまとめています。海外旅行やホームステイの際に役立つ表現集としても、ご利用いただけるはずです。

7) 欄外まで飽きない話題が満載

『セレクト表現』では、欄外に**英語で何という？**となる**ほどザ☆ワード**というミニコーナーを設け、生徒の知的好奇心や社会への関心を高める工夫をしています。

英語で何という？では、各レッスンの文法項目を含む、言えそうで言えない英語表現（日常表現やことわざ）を紹介しています。「セレクト英文法」で学んだ文法項目を使って、こんなこともあんなことも言えるということを実感していただけるでしょう。

なるほどザ☆ワードでは、人気の宇宙食、五輪のマーク、アニメということばのルーツなど、各レッスンのテーマに即した興味深い豆知識を提供しています。

おわりに

以上、『セレクト表現』の編集方針と特色を紹介してきました。文法項目をスムーズに導入し、学んだ項目の理解を深める工夫を随所で行っていることがおわかりいただけたと思います。

冒頭でも述べたとおり、本書は、どの生徒にも学びやすく、先生方にも教えやすいというユーザーフレンドリーな教科書をめざして編集されたものです。本教科書で取り扱っている文法項目の多くは基本的なレベルですが、この一冊を学び終えたときには、以前よりも達成感が得られ、英語を使って積極的に自己表現してみたくなっていることでしょう。本教科書で学んだことが、これからの英語学習を支える大きな力になると信じています。



"a goal
without a plan
is just a wish."
- Antoine de
Saint-Exupéry -